



徳成寺 寺とかわら版 第127号 2017年7月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

先日、小林真央さんがお亡くなりになりました。34 歳でした。

彼女が残した日記を読んでいると、今から約 30 年前、47 歳で

同じく癌で亡くなられた鈴木章子さんというお寺の坊守さんの「変換」と

題した詩を思い出します。「変換 死にむかって 進んでいるのではない

今をもらって生きているのだ 今ゼロであって 当然の私が 今生きている

ひき算から足し算の変換 誰が教えてくれたのでしょうか 新しい生命

嬉しくて 踊っています “いのち 日々あらたなり” う～ん わかります」

という詩です。「今ゼロであって当然の私が、今をもらって生きている」

この言葉の前に、頭の上げようがありません。彼女たちの死が、私たちに

歩む方向を示して下さいと思っています。

*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

一発行責任者一

住職

大山健児

坊守

大山ひとみ



徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

どうも、長男です。

神奈川県の大井町に住んでいるのですが、先日仕事からアパートに戻った際にカブトムシ(メス)を発見してしまいました。

香川でも、五色台とか屋島とか the 山みたいな所に行かないとお目にかかれないカブトムシを都会で目撃してしまったわけです。

友達の絵日記や NHK 位でしか見なかったカブトムシに 6 月の真ん中で遭遇してしまう奇妙な事態に困惑しながらも、環境を選ばず生息する昆虫にちょっとした生命の脈動を感じた次第でございます。

……今年は暑くなりそうですね。

